

「庁舎建設基本設計に対する会派からの意見について」の
市の考え方

平成27年2月

周 南 市

整理 番号	意 見 等
1	<p>これまで出された基本設計の案について、提案されたものに大きく異論はない。</p> <p>重厚さは必要だが、市民目線を配慮し、華美に過ぎるものは控えるべきである。</p>
回答	<p>御提言のとおり、華美に過ぎるものは控えつつも、庁舎は、市の象徴の一つであり、地域の核となる施設であることから、景観形成に十分配慮するとともに、内装材には地場産品を活用するなどして、市民の皆さまが誇りの持てる施設にしてまいりたいと考えております。</p>

整理 番号	意 見 等
1	<p>免震構造は魅力ある建設構造だが、液状化現象も心配される周南市の土壌では免震構造はどれだけのコストがかかるのか、制振構造、耐震構造での建設と比較する必要があるのではないかと。また、本館は免震構造、シビックプラットホーム部分（2階建）は耐震構造の併用では緩衝装置が特殊なものになるのではないかと。</p>
回答	<p>2014年9月の特別委員会でお示ししました『耐震構造、制振構造、免震構造の比較』資料で、各構造のイニシャルコスト比較を提出させていただいております。</p> <p>御意見のとおり、本館とシビックプラットホームの間には、エキスパンションジョイントが必要となりますが、2つの建物を渡り廊下で接続することで、緩衝装置の長さが最小限になるように計画しております。</p> <p>また、イニシャルコストを考慮して防災拠点機能のある本館を優先して免震構造の採用を考えております。</p>
2	<p>年間ランニングコストの検証、算出は当然だが、建設後60年間のライフサイクルコストの検証が必要だ。（経年中小規模改修などを含む。）</p>
回答	<p>御提言のとおり、ライフサイクルコストの検証は必要であると考え、今後、施設の維持管理費及び更新経費などアセットマネジメントについて検討してまいります。</p>
3	<p>本館やシビックプラットホームに見られる外観ガラス張り構造は、綺麗で公開性も高いが、建設コストそのものに加え、業者による定期的清掃などのランニングコストが嵩むのではないかと。一般的な工法、外観との比較も必要ではないかと。</p>
回答	<p>ガラス面積の縮小や窓の外側に庇（メンテナンスバルコニー）を設け、ガラス清掃を容易にするなどして、ランニングコストが嵩まぬよう検討してまいります。</p>

4	<p>授産施設としての店舗は設置が検討されてもよいものだが、一般的な廉価なサービスが期待できるレストラン（職員食堂）は、別に必要ではないか。</p>
回答	<p>計画しているカフェ・レストランは、来庁者も職員も利用しやすい廉価なサービスを提供できる店舗が入ることが望ましいと考え、庁舎の利用促進と市民に親しんでいただくために設置するものであります。</p> <p>職員のための食堂は、利用時間が昼食時に限られ、出店者が経営的に自立できず、将来、空き店舗となる危険性があります。また、職員が外食することは、市街地活性化に貢献できると考えますので、職員を対象としたレストラン（職員食堂）の設置は考えておりません。</p>
5	<p>2市2町歴史ギャラリーは他の適当な場所、施設にあってもよいのではないか。この場所に玄関正面にあるトイレを配置すれば、玄関正面に執務カウンター窓口ができ、広々としたホール全体の見通しが効く景観になる。総合案内所は玄関正面では圧迫感につながる。可動式にしておくと良い。</p>
回答	<p>総合案内とトイレの位置については、御提言のとおり、見直しを行います。また、歴史ギャラリーについては、各地域の歴史に気軽に触れることのできるコーナーの設置を望まれる声もありますことから、電子媒体にしてスペースをとらないかたちでの設置を検討してまいります。</p>
6	<p>広い（と思える）各階底下の利活用に構想があるのか。</p>
回答	<p>各階底下は、メンテナンスバルコニーとして利用したいと考えております。</p>
7	<p>駐車場利用者の動線が南側となり、岐山通りの混雑やUターン、満車時など複雑にならないか。</p>
回答	<p>岐山通り側の敷地進入路については、周南警察署を通じ公安委員会にも相談しましたが、進入路の位置が横断歩道手前からの約30m離されている点や車両の進入が全て左折であることから、安全面での指摘は特ではありませんでした。今後実施設計を進める中で、障害者に配慮し、歩道と出入口の段差解消や音声誘導、パトライト等の安全装置の設置等について、周南警察署に相談しながら安全面に配慮してまいります。</p>

8	市役所利用者以外の駐車場利用者対策はどうか。
回答	来庁者駐車場は有料化し、市役所に御用のない方でも利用していただけるように考えております。設定料金など管理運用に関しましては、現在検討しております。
9	福祉部門の窓口の混雑が予想される。個人情報、セキュリティ保護のため、将来的に2Fにも相談窓口があったほうが良い時のためにも2Fまでのエスカレーターは設置しておいた方がよい。
回答	エスカレーターは、車いすやベビーカー利用者に対しての安全基準が十分ではなく、エレベーター2基と直通階段との併用で機能的には満たされるものと考えております。 また、エスカレーターの設置は、1階ロビーの視線を遮り、窓口を分かりにくくするだけでなく、メンテナンス等の維持管理費が嵩むため設置については考えておりません。
10	エレベーターの奥行が1.3メートル、1.5メートルでは狭すぎる。急病人搬送のためなどに、せめてストレッチャーが収納できる広さにするべきだ。
回答	設備機器の更新時に利用でき、ストレッチャーも収納できるような広さのエレベーターを庁舎北側に設置したいと考えております。
11	職員更衣室ロッカー、休憩所、さらには防災拠点とのコンセプトがあれば災害時仮眠所、備蓄倉庫等が必要ではないか。
回答	御提言のとおり、更衣室や休憩室等を設置するとともに、災害時における仮眠室、備蓄倉庫等も設置して、防災拠点機能を強化してまいります。
12	地元産木材の活用では、構造材には大断面集成材にもなるが、木材は腰壁などへの活用で室内に温かみを醸し出す素材だ。木質建材はどの部分に採用されるのか。
回答	地元産木材が利用可能な場所としては、議場や会議室の内装材又は待合いや休憩スペースに設置するイスなどを考えておりますが、他にも利用できる場所はないか検討し、地元産木材の活用を図ってまいりたいと考えております。

1 3	喫煙所は、周南市訪問者への配慮のためにも雨風にさらされることなく、庁舎内に設置して欲しい。
回答	2012年10月の厚生労働省健康局長通知によると、受動喫煙防止措置の具体的方法として、「多数の者が利用する公共的な空間については、原則として全面禁煙とすべきであり、少なくとも官公庁や医療施設においては、全面禁煙とすることが望ましい。」とありますので、新庁舎内は、原則全面禁煙としますが、受動喫煙防止策を講じて、屋外に雨風がよけられる程度の喫煙コーナーの設置を検討してまいります。
1 4	本館、シビックプラットホームの屋上の利活用は計画にあるのか。
回答	屋上には、電気室や防災アンテナ、或いは太陽光パネル等の設備を設置する予定にしておりますが、シビックプラットホームの屋上は、憩いや賑わいの場としての整備を検討してまいります。
1 5	キッズコーナーは可動可能なものか。
回答	御提言のとおり、キッズコーナーは、可動式を採用したいと考えております。
1 6	植栽（例えばイペーの木）、銅像（徳山市ではないので移設か?）、記念碑・モニュメントなどのスペースは確保されているのか。
回答	<p>玄関前のソテツと、市民憲章碑は、正面玄関付近に配し、イペーやキンモクセイなどの植栽は、敷地の南側に移植するために、それぞれ必要なスペースを確保してまいりたいと考えております。</p> <p>また、「野村恒造翁」の銅像及び「伸びゆく徳山」モニュメントは、他の施設への移設を検討しております。</p>

整理 番号	意見等
1	<p>大地震などの災害時の本庁舎の避難場所、及び災害時の対応の中核をなすとすれば整備体制について不十分であると考えます。</p> <p>市民の避難場所として想定しているのではなく、一時避難場所とは考えているようで、飲料水確保も職員4日分であり、電源確保も3日分である。</p> <p>東日本大震災でも、災害の復興は3年たった今も課題がたくさん残っていることに見られるように、災害復興はかなり長期にわたることがある。</p> <p>計画の非常用給水、電源設備では災害時の対応が難しいと思われるので、もっと掘り下げた専門家や市民や職員等による真摯な議論が必要である。</p>
回答	<p>大規模な災害が発生した場合、本庁舎は対策本部として指揮命令を行うだけでなく、援助物資の受け入れや生活物資の提供等を行う機能が必要となることから、それらの機能の導入について検討しております。</p> <p>また、駐車場やエントランスなどを災害発生時の緊急避難場所としての機能を持たせることを検討しておりますが、本庁舎はあくまで防災拠点であり、市民が一定期間滞在することができる避難所としての機能を持たせることは考えておりません。</p>
2	<p>庁舎建設に、にぎわいをつくるなどの目標を加えること、観光や商業機能に重点をおくことは、本来の目的をそらし庁舎機能に弊害をもたらす可能性がある。</p> <p>中心市街地活性化と庁舎の関係がどうにぎわいを創出するのか、納得のいく具体案が求められる。</p>
回答	<p>庁舎建設において、観光や商業機能に重点をおくことは考えておりませんが、駅から動物園にかけては、中心市街地の都心軸であり、景観に配慮した整備等を行い、回遊性の向上を図ることで、まちのにぎわいをもたらすことを期待しております。</p>

3	<p>今回の計画案は庁舎の利点を行政側の視点だけでなく、住民の視点からのワンストップサービス、窓口業務の集中についても、説明されている。</p> <p>しかし周辺地域の市民、交通弱者の目線が欠けている。本庁舎へ足を運びうるものだけでなく、市内全域を視野に入れた新庁舎のサービスのネットワークのあり方が問われる。</p>
回答	<p>総合窓口導入に向けた作業の中で、本庁と支所及び総合支所とをネットワークで繋ぎ、周辺地域の方が本庁まで足を運んでいただかなくても本庁と同様の行政手続きが出来るだけ行えるようシステムの構築を進めてまいります。</p>
4	<p>市役所に吹き抜けやガラスのプロムナードが必要とは思われない。機能的に業務が果たせる設計で、費用を抑えるべきである。</p> <p>吹き抜けによる、冷暖房費の節約論はかなり無理がある。風の道をつくることにはそれだけで相当の費用がかかるはずである。</p>
回答	<p>これからの庁舎は、市民の安心安全を確保するための防災拠点であることはもちろんのこと、交流や憩いの場として市民が気軽に集い、活動できるような、長く親しまれる庁舎としていくことをめざす上でも、開かれた市庁舎として、市民協働の場として使われている姿が見え、その拠点であることを永く発信し続けられるよう、開放感のあるガラス張りとしております。</p> <p>また、吹き抜けにつきましては、2014年9月の特別委員会で提出しました「吹き抜け空間の有無に係る効果とコストの比較(案)」にてお示ししておりますが、得られる効果としましては、以下の3点があります。</p> <p>① 吹き抜け上部のトップライトから自然光を取り入れて、来庁者ゾーンが明るくなる、加えて、吹き抜け周囲の照明を消灯・減光することで照明電力の削減が可能。</p> <p>② 吹き抜けを介して、見通しがよく、来庁者への案内性がよい。</p> <p>③ 吹き抜けを活用した、重力式自然換気により、冷房期間を短縮できることで、中間期の空調コストの削減が可能。</p> <p>以上の効果を理由に、イニシャルコストはかかるものの、吹き抜け空間によって得られる効果も大きいことから導入することとしております。</p>

整理 番号	意 見 等
1	市民が行政サービスを迅速かつ的確に受けられ、親しみやすく利用しやすい庁舎に留意すること。
回答	御提言のとおり、市民の皆さまの利便性向上や行政運営効率化などの視点を十分に踏まえた上で、市民の皆さまにとって親しみやすく利用しやすい庁舎となるよう努めてまいります。
2	2つの核プラス美博・文化会館・動物園を含むそれぞれの「点」を「線」で結び、さらに「面」としてのゾーニングの中心が新庁舎との位置づけが大切。
回答	御提言のとおり、庁舎は、駅と動物園とを結ぶ線を中心市街地の都心軸の真ん中にあり、飲食施設や市民活動を支える機能を備えることで、駅から動物園までの回遊性が増すものと期待しております。
3	新庁舎の『シビックプラットホーム』と新徳山駅の「人が集い楽しむこのまちの賑わいと交流の場」における2階の駅前プラットホーム（予定）で新たな仕掛けの展開を期待する。
回答	御提言のとおり、関係課と協力して駅と新庁舎とで賑わいと交流を生み出す新たな仕掛けの展開を検討してまいります。
4	行程フローを見直し工事の重なりを排除することで、新庁舎新築工事を短縮し、既存庁舎解体から全体竣工まで35ヶ月→32ヶ月へ短縮とあるが、その目的はイニシャルコスト削減もあるのか。
回答	御意見のとおり、イニシャルコスト削減も目指しております。

5	<p>「市民会議室」の先行新築について可能ならよいと思うが、庁舎棟工事中の先行オープンなら、市民の「安全」第一義として検討すべきであり、市民ニーズ調査及び費用対効果もしっかり検証すること。</p>
回答	<p>御提言のとおり、例え「市民会議室」を先行して建てても、庁舎棟工事中の先行オープンは、敷地内の安全や来庁者駐車場の必要台数が確保できないため、「市民会議室」を先行して新築することは考えておりません。</p>
6	<p>周南地域での免震構造の導入判断は地震発生予測（過去・未来の数値データ）を含めた市民動向を含めて判断し費用対効果もしっかり検証すること。</p>
回答	<p>本庁舎は防災拠点となるため、家具・什器の転倒を抑え、安全な災害対策活動を行う必要があるため、免震構造を採用したいと考えております。</p>
7	<p>市民参画型の設計プロセスについては、ワンウェイ型の参画も必要と思うが、出前講座等、極力幅広い層の市民の方々とツーウェイ型の意見交換を望むことに加え、庁舎内の意見（職員）の吸い上げも大事である。</p>
回答	<p>これまでもパブリックコメント、意見交換会、出前トーク、開催などの市民参画には努め、今年度もワークショップを開催するなど庁舎建設事業におきましては、市民の皆さまとの対話を重視し、丁寧に進めてきたところであります。</p> <p>また、職員の意見の吸い上げにつきましては、案が固まらないうちに意見を求めると混乱を招くため、庁舎建設課の職員、専任兼任合わせ 33 名体制で検討を重ね、ある程度案が固まった段階で他の職員の意見を職場単位で聞いてまいりたいと考えております。</p>
8	<p>通りににぎわいをつくる歴史ギャラリーと市民ギャラリーは『緑と文化のプロムナード』の一角を担うことを期待する。</p>
回答	<p>駅から動物園を結ぶ市のシンボルロードを市民の皆さまが楽しんで歩いていただけるよう、シビックプラットホームの機能を検討してまいります。</p>

9	<p>基本的に駐車場は「屋根付き駐車場」若しくは「地下駐車場」の導入も検討すべきでないか。(懸念はコスト・景観?)</p>
回答	<p>「屋根付き駐車場」及び「地下駐車場」の導入は、コスト増に繋がるため、設けない計画としております。</p> <p>また、庁舎前面のおもいやり駐車場には屋根を設け、妊婦や障がい者の方が雨に濡れずに来庁できるよう配慮してまいります。</p>
10	<p>バリアフリーは当然ながら、様々なハンデを持たれた方々(視覚・聴覚・内部疾患・子ども連れ。高齢者等)への配慮は重要(ユニバーサルデザイン)</p>
回答	<p>新庁舎は、ユニバーサルデザインの考えのもと、ハンデを持たれた方々にも利用しやすい施設となるように配慮してまいります。</p>
11	<p>高度情報化など今後の行政需要の変化にフレキシブルな対応が可能な庁舎とすること。</p>
回答	<p>新庁舎は、「行政サービスを機能的・効率的に提供できる庁舎」を目指し、オープンフロアやユニバーサルプラン、フリーアクセスフロアを採用するなどして、行政需要の変化に対応できる柔軟性を確保してまいります。</p> <p>また、間仕切りの必要な個室は北側にまとめて配置し、執務室を間仕切りのない口の字型に配置することで、レイアウト変更が容易な計画としております。</p>
12	<p>災害対策拠点として、事業継続計画(BCP)の遂行を担保するハード整備が重要。</p>
回答	<p>基本計画P9に記載しておりますように、新庁舎は、高い耐震性能を備えるとともに、電気、ガス、上下水道などのインフラが途絶してもある程度自立できるように非常用発電設備等を設置し、防災拠点機能としての機能維持ができるように計画しております。</p>

1 3	免震構造の採用は論理的な根拠をしっかりと積み、液状化が起きる土質かどうか、しっかりと調査して工法を決定すること。
回答	構造形式の採用は、平成 25 年度に実施した地質調査の結果をもとに、堅固な地層を支持層とする杭基礎とし、建物を確実に支持できる構造とします。また、防災拠点を維持するためにより安全な免震構造を採用することとしております。
1 4	太陽光発電はバックアップ電源としても用いること。周南市のシンボル庁舎として水素ガス発電（エネファーム）の利用検討はできないか。
回答	御提言の通り、太陽光発電はバックアップ電源として用いる予定にしております。水素ガス発電（エネファーム）については、今後の技術開発を注視しながら検討を進めてまいります。
1 5	高度情報通信設備およびそれらの導入に必要な設備への配慮と、情報技術の進展に柔軟に対応可能な設計（インテリジェント化）とすること。
回答	御提言の通り、執務室のOAフロア化やフリーアクセスフロアの採用、配線ラックスペースの確保を行う計画としております。
1 6	災害時最低 3 日間職員が災害対策に専念できる物理的なスペース及び飲料水・食糧・マンホールトイレ等の整備は必要事項
回答	御提言のとおり、職員が災害対策に専念できる仮眠室等の物理的なスペース及び必要とされる物品の確保に努めてまいります。
1 7	全国に先駆けて『危機管理センター』に早変わりする庁舎を導入し、多くの市外からの来庁者増加へ繋がるような庁舎へと期待する。
回答	庁舎に求められる防災拠点機能を満足した建物となるように計画してまいります。

18	免震・制震・耐震のいずれを選択するにしても数値根拠をしっかりと出して費用削減に拘らない事。
回答	2014年9月の特別委員会でお示しました『耐震構造、制振構造、免震構造の比較』にて検討を行った結果、災害時に求められる防災拠点機能を維持するため、免震構造を採用しております。
19	コストパフォーマンスにおいては建設コストプラス維持管理コスト等をあわせた「ライフサイクルコスト」の視点からの取り組みが重要。特に建設コストにこだわるあまり、手戻りがあるようなら、最悪である。
回答	新庁舎は、ライフサイクルコストなどの費用と、市民の皆様の利便性向上や行政運営効率化などの効果とを検討し、維持管理のしやすさに配慮した庁舎となるよう検討してまいります。
20	エコオフィスとして、太陽光発電はもとより、ナイトパージ（自然換気システム）、地中熱利用、雨水利用、明るさセンサー付照明器具など、可能な限りの取り組みを。又、地熱・雨水の空調利用は効果を十分に検討すること。
回答	御提言のとおり、地中熱の空調利用や雨水の再利用を始め、庁舎の環境負荷低減に役立つ機能は、可能な限り取り入れてまいります。
21	売店の広さは充分か、若干狭いのではと危惧する。また売店エリアまでの夜間・休日も利用できるようにすべきである。
回答	売店の広さは、売店に求める機能や条件を固めた上で、実施設計の中で精査してまいります。また、売店エリアの夜間、休日の利用につきましては、セキュリティなどを十分に検討した上で判断してまいります。

2 2	<p>職員食堂は必要ではないか。イメージとして、カフェ・レストランは、障害者団体等の方々に運営できるような「喫茶・軽食コーナー」で、別に市民も気軽に利用できるような食堂が必要である。</p>
回答	<p>カフェ・レストランの具体的な運営については、障害者団体等の運営とするかどうかも含め検討してまいります。</p> <p>計画しているカフェ・レストランは、市民の皆さまが気軽に利用できて、職員も利用しやすい廉価なサービスを提供できる店舗が入ることが望ましいと考えております。職員食堂は、利用時間が昼食時に時間が限られ、出店者が経営的に自立できず、将来、空き店舗となる危険性があります。</p> <p>また、職員が外食することで、まちの賑わいに貢献できると考えますので、職員を対象としたレストラン（職員食堂）の設置は考えておりません。</p>
2 3	<p>7頁の災害対策機能（インフラ途絶時の対応）（案）は、職員が災害発生時、司令塔として事業継続可能とするための対策であり、避難所としての対策ではない点を、もう少しわかりやすくすべきではないか。</p>
回答	<p>基本設計書の中で、防災拠点としての機能であることを明示することとします。</p>
2 4	<p>災害発生時の4階フロア全体の使い方を司令塔としての部屋割りも含めた表記にすべきではないか。</p>
回答	<p>災害発生時には、4階フロアの南側の会議室2室と防災危機管理課の執務室が司令塔機能を果たしますが、他の部署の部屋割りに変化はございませんので特に表記すべきとは考えておりません。</p>

■庁舎建設基本設計に対する会派からの意見及び市の考え方 (刷新クラブ)

整理 番号	意 見 等
1	技術提案書にランニングコストの削減として年間1,900万円とあるが、その詳しい内容、現状及び効果を明確にする必要があるのではないかと。例えば、吹き抜け構造と同面積での密閉構造の建設費用、ランニングコストの比較、これを明示してほしい。
回答	2014年9月の特別委員会でお示ししております『吹き抜け空間の有無に係る効果とコストの比較』にて明示しております。
2	議会関係機能はワンフロアに集約すべきである。
回答	御提言通り、議会関係機能は、庁舎棟5階ワンフロアに集約する予定にしております。
3	1階のカフェレストランというふうにあるが、一般市民や職員が利用できるワンコイン食堂が必要である。
回答	カフェ・レストランの具体的な運営については、現在検討中でございますが、一般の市民の方も職員も利用しやすい廉価なサービスを提供できる店舗が入ることが望ましいと考えております。
4	職員の福利厚生機能、休憩室、更衣室、ロッカーなどの確保が必要である。
回答	ご提言のとおり、休憩室や更衣室などの職員の福利厚生機能は適切に配置してまいります。
5	軽食喫茶コーナー等の運営を障害者団体等に委託することを検討する必要がある。
回答	御提言のとおり、カフェ・レストラン等の運営を障害者団体等に委託することを検討してまいります。

6	<p>庁舎全体の喫煙ルームとするか、喫煙場所とするかは、庁舎面積との関係で重要である。</p>
回答	<p>2012年10月の厚生労働省健康局長通知には、受動喫煙防止措置の具体的方法として、「多数の者が利用する公共的な空間については、原則として全面禁煙とすべきであり、少なくとも官公庁や医療施設においては、全面禁煙とすることが望ましい。」とありますので、喫煙ルームの設置は考えておりませんが、受動喫煙防止策を講じて、屋外に喫煙コーナーを設けることは検討してまいります。</p>

■庁舎建設基本設計に対する会派からの意見及び市の考え方 (アクティブ)

整理 番号	意 見 等
1	<p>吹き抜けを採用することによるコスト比較において、イニシャルコストが約1億円の増、ランニングコストが年間150万円の減では費用対効果面で説得力に乏しい。また、業務効率が上がることも記載されているがその根拠も乏しいと感じられるため、採用すべきであればもう一段踏み込んだ説明が必要である。</p>
回答	<p>吹き抜けにつきましては、2014年9月の特別委員会で提出しました「吹き抜け空間の有無に係る効果とコストの比較(案)」にてお示ししておりますが、得られる効果としましては、以下の3点があります。</p> <p>① 吹き抜け上部のトップライトから自然光を取り入れて、来庁者ゾーンが明るくなる、加えて、吹き抜け周囲の照明を消灯・減光することで照明電力の削減が可能。</p> <p>② 吹き抜けを介して、見通しがよく、来庁者への案内性がよい。</p> <p>③ 吹き抜けを活用した、重力式自然換気により、冷房期間を短縮できることで、中間期の空調コストの削減が可能。</p> <p>以上の効果を理由に、イニシャルコストはかかるものの、吹き抜け空間によって得られる効果も大きいことから導入することとしております。</p>
2	<p>1階玄関から市民待ち合いへの導線が窮屈に感じるがこれで十分か検討すべきである。</p>
回答	<p>玄関や総合案内の配置を変更し、正面玄関から市民待ち合いまでの動線を真っ直ぐにし、動線が窮屈にならぬよう計画を見直しております。</p>

3	<p>シビックプラットフォーム1階本庁舎側の市民ギャラリー・市民サロン・多目的室周辺は、昼間は一般来庁者の動線と一体感がないように感じられるがこれについて検討すべきである。</p>
回答	<p>行政手続きに来られる方とシビックプラットフォームに来られる方の動線を分けることにより、ロビーに人が滞留することなくスムーズに流れる点で有効であると考えておりますが、オープンな空間である市民ギャラリーは、庁舎エントランスホール近くに配置し、繋がりをもたせ、また、多目的室は、期日前投票や市長記者発表の会場としてだけでなく、行政がこれまで市民館や徳山保健センターの会議室を利用していた審議会等の会場として活用することを検討してまいります。</p>
4	<p>1階で、売店との統合も含めコンビニの設置についてその設置位置とともに検討すべきである。</p>
回答	<p>売店、コンビニの設置については、地域性と店舗に求める機能（収入印紙、県証紙販売、地元商品の取扱い、ATMの設置等）をよく整理した上で判断してまいりたいと考えております。</p>
5	<p>シビックプラットフォーム南端1階にカフェ・レストランがあるが職員が押しかける昼の時間にここだけで対応できるのか不安である。災害時に食事を提供できる場所、平時でも打ち合わせ等で職員がコミュニケーションをとれる場所としても、これとは別に本庁舎内部に市民も使える職員用食堂の設置を検討すべきである。</p>
回答	<p>職員が利用することにより、昼食時間にカフェ・レストランが混雑することは考えられますが、職員には、弁当を持参する者や売店を利用する者などもおりますので、全ての職員がこの施設を利用する訳ではございません。また、職員が外食することで、まちの賑わいに貢献できると考えますので、職員を対象としたレストラン（職員食堂）の設置は考えておりません。</p>

6	1・2階の相談室は、出入り口を市民側と職員側の2カ所とするべきである。
回答	御提言のとおり、相談室の出入り口は、職員の安全を確保するため、2カ所とする予定であります。
7	3階「教育長、応接室」や「図面庫、書庫」の位置は、職員間の連携を阻害しないようになるべく建物の角などに設置するように考えるべきである。
回答	御提言のとおり、職員間の連携を阻害しないよう、また、将来の課の配置変更に対応できるよう、3階に限らず各フロアとも間仕切りの必要な部屋は可能な限り、建物の北側に寄せて計画しております。
8	各階共通で、隣り合う課が今の案で良いのかよく検討すべきである。
回答	新庁舎の完成に合わせ、組織や職員数の見直しもございますのでお示ししている配置が確定ではありませんが、課の配置については、業務の関係性を考慮し、市民の皆さまが利用しやすく、職員も働きやすい配置となるように努めてまいります。
9	職員用のロッカー、休憩室が必要ではないか検討すべきである。
回答	新庁舎には、更衣室及び休憩室を設置することとしております。
10	技術職員のロッカールームは2階以外にも必要ではないか検討すべきである。
回答	技術職員のロッカールームは、現場作業の多い技術職員が、雨具やヘルメット、長靴などを着脱、保管するためのスペースで、事業系の部署を3階に集めて配置する予定にしましたので、技術職員との話し合いにより、設置場所を2階から3階に移し、それ以外の階の者は使用頻度が低いいため部屋の設置までは必要ないものと考えております。

1 1	屋上の活用について（屋上までの EV 延長を含め）も検討すべきである。
回答	屋上には、電気室や防災アンテナ、或いは太陽光パネル等の設備を設置する予定にしておりますが、シビックプラットホームの屋上には、憩いや賑わいの場の整備を検討してまいります。
1 2	市行事などのPRができるように建物上部やその他適切な場所に電光掲示板や電子案内板（デジタルサイネージ・建物内部を含む）を設置すべきである。
回答	電光掲示板や電子案内板（デジタルサイネージ・建物内部を含む）の設置につきましては、先日開催したワークショップの中でも御提言がありましたので、実施設計において、具体的に検討してまいりたいと考えております。
1 3	来庁者駐車場入り口（東側）が大きな交差点から近く渋滞の懸念があるが、これについての検討をしておくべきである。
回答	岐山通り側の来庁者駐車場出入口は、南側の横断歩道手前から約 30m 離れた地点に設けることとし、安全には配慮しておりますが、今後、実施設計の過程の中で、より詳細な図面をもとに、周南警察署と十分な協議を行いながら必要な安全策を講じてまいります。
1 4	公用車駐車場は縦列駐車となっているが、職員から見た停めやすさ・使いやすさ・安全性などの検討をしておくべきである。
回答	公用車を縦列駐車することについては、公用車 1 台当たりの稼働率を上げることで台数削減に繋がるだけでなく、スペースの有効利用も図れることから、現在も実施しているところでございます。同様の観点から、新庁舎におきましても公用車は縦列駐車としますが、職員の利便性及び安全性には十分配慮し配置の検討を行ってまいります。

15	駐輪場に放置車両が発生しないように検討しておくべきである。
回答	御提言のとおりと考え、放置車両が発生しないような有効な対策を考えてまいります。
16	国旗、市旗の掲揚台は、周辺道路からもよく見え、かつ職員の手間がかかりすぎない様に場所等をあらかじめ検討しておくべきである。
回答	御提言のとおりと考え、実施設計の中で検討してまいります。
17	懸垂幕などを適切な場所に掲示できる様に、あらかじめ検討しておくべきである。
回答	御提言のとおりと考え、実施設計の中で検討してまいります。
18	記念碑、記念樹の移設・存廃等についての素案も早く示すべきである。
回答	<p>玄関前のソテツと、市民憲章碑は、正面玄関付近に配し、イペーやキンモクセイなどの植栽は、敷地の南側に移植するために、それぞれ必要なスペースを確保してまいりたいと考えております。</p> <p>また、「野村恒造翁」の銅像及び「伸びゆく徳山」のモニュメントは、他の施設への移設を検討しております。</p>